

平成30年6月12日現在

機関番号：13201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02431

研究課題名(和文)文化都市・青島における知識人ネットワークと都市表象の研究

研究課題名(英文) Research of the intellectual network and the city representation in a cultural city: Qingdao,

研究代表者

齊藤 大紀 (SAITO, Hiroki)

富山大学・人文学部・教授

研究者番号：70361938

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：この研究では、中国の山東半島に位置する青島における文化活動の解明が行われた。特に1930年代、国立青島大学が設置されたのにもない、楊振声校長のもと、梁実秋・聞一多・沈從文らの文学者が教師として赴任し、旺盛な文学活動が行われた。このほかにも、劇作家の洪深や作家の老舍なども、国立青島大学で教鞭を執った。また山東省出身の著名作家・王統照も、同時期に青島で活躍した。本研究では、これらの文学者の作品が分析され、彼らの間のネットワークを解明した。

研究成果の概要(英文)：In this research, the elucidation of the cultural activities in Qingdao located in the Shandong peninsula in China was performed. In connection with national Qingdao University having been established especially in the 1930s, Yang zhensheng was the president of national Qingdao University, The basis of his instruction, many literary men as teacher: Liang Shiqiu, Wen Yiduo, Shen Congwen, etc, gathered at national Qingdao University. In addition, the dramatist's Hong Shen, the famous writer Lao She, etc. taught at national Qingdao University. And moreover, the famous writer Wang Tongzhao born in Shandong, also played an active part in the same period in Qingdao. In this research, these literary men's work was analyzed and solved the network between them.

研究分野：中国文学

キーワード：中国現代文学 青島 国立青島大学 1930年代 楊振声 沈從文 王統照 洪深

1. 研究開始当初の背景

山東半島に位置する青島は、19世紀末からドイツによって建設が始められ、第一次世界大戦後には日本がそれを引き継いで建設を進めてきた。その後、青島は中国に返還され、おりしも北洋軍閥政府から国民党政府への権力の移行時期にあつて、大学などの高等教育機関が急速に整備されていった。

特に国民党政府下の国立大学として整備が進められていった国立青島大学(後の山東大学および中国海洋大学)には、1930年代にかつて五四運動をリードした知識人の一人である楊振声が校長として赴任し、梁実秋・聞一多・沈從文・老舍・洪深・趙太暉らの著名な知識人・作家が蟠集して、旺盛な作家活動、教育活動を行った。この大学の受業生には詩人の臧克家、李雲鶴こと後の江青などがおり、職員には張兆和などがいた。またこれと同時期に青島市立中学でも、著名作家・詩人の王統照、汪静之、陳翔鶴らが教鞭を執り、文学活動を行った。

本研究は、前身の研究プロジェクトである「近代都市・青島における知識人の交流と文化空間の創成」の成果を引き継ぎ、特に1930年代の青島における文化活動の解明を目指して開始されたものである。

2. 研究の目的

本研究では、主に1930年代の青島に焦点を当てて、国立青島大学をはじめとする諸教育機関における文化活動を解明し、あわせてそこに集った知識人・作家・詩人たちの諸作品を検討し、彼らの思想・文学的な成熟の道のりの一側面を明らかにすることを第一の目的とする。それとともに彼らの活動の背景となった、文化的に重層性をもつ青島という近代都市の都市化の諸相を明らかにすることも目的とした。

3. 研究の方法

本研究の具体的な研究方法としては、実地調査・資料収集と個別研究・共同研究の2種類の研究方法を採用した。

中国現代文学を専門とする6名の共同研究者が、青島・諸城・済南等における資料収集および実地調査を行い、日本国内にあつては入手困難な青島、国立青島大学(および後継の山東大学)、青島市立中学関連の資料等を入手した。

如上のような実地調査および資料収集にもとづき、共同研究者各自が、青島の文化空間創成に関するテーマを選定して、個別研究を行った。そこから得られた知見を例会等で共有することによって、1930年代を中心とする青島の都市の発展を背景とする文学的事象および都市表象を総合的に検討した。

4. 研究成果

平成27年度は、前身の研究プロジェクトである「近代都市・青島における知識人の交流と文化空間の創成」の成果をふまえ、第1回例会では、今後の研究方針が確認されるとともに、「王統照『一葉』について 少年は海で何を思うか」という基調報告のほか、「青島 混淆する文化空間」のテーマのもとで陶晶孫と青島の関わりや国立青島大学における学生左翼運動の実相についての報告があつた。また3月に行われた実地調査では、国立青島大学の後継校のひとつである中国海洋大学の校史関連教員の協力を得て、江青・張兆和らが職を得た国立青島大学図書館跡などの調査を行った。また王統照・臧克家の故郷であり、青島に隣接する諸城市の調査を行い、その文学的風土を知るとともに、臧克家の実弟である臧錦家氏との研究交流を行った。

平成28年度は、1930年代の青島における知識人ネットワークと文化空間の創成に関して、個別の知見の蓄積を行った。第2回研究例会では、ゲストスピーカーを招聘し、『月下小景』を中心とする沈從文の青島滞在期の作家活動、蕭軍・蕭紅の青島における活動の軌跡、2010年以降の中国大陸における沈從文研究の動向についての研究報告が行われ、青島に関する新たな知見の獲得が図られた。第3回例会では、研究分担者によって、これまで研究されて来なかった沈從文「懦夫」の作品論、国立青島大学校長・楊振声の大学運営と学生左翼運動の対立などについての研究報告が行われた。

平成29年度は、青島における補完的な実地調査および資料収集が行われたほか、国立青島大学の後継校のひとつである山東大学における調査が行われ、同校校史資料館の協力によって知見の深化が図られた。第4回例会では、研究分担者によって、これまで本研究では報告されてこなかった劇作家・洪深の青島における文化活動が報告された。

本研究においては、前身研究プロジェクトの成果をふまえ、青島関連の歴史・文学活動に関して実地調査による知見のさらなる深化が図られるとともに、引き続き青島関連の資料の収集が行われた。これらの資料の蓄積にもとづき、これまで日本における中国現代文学研究において論じられることの少なかった上述の王統照、楊振声、洪深らについて研究を進展させることができ、また沈從文らの未研究作品についての分析も進展を見せた。さらに1930年代の国立青島大学における学生左翼運動についても解明が進んだ。

本研究でなされた研究を進展させ、今後、青島における学生左翼運動と作家および作品との関係、青島市立中学等の青島の他の教育機関および齊魯大学などの山東省の他大学における文学活動の究明が期待される。また前身プロジェクトに引き続き、中国における近代リゾートの受容、現代中国における海をテーマとする文学の解明とい

った研究の進展が期待される。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 13 件)

- (1) 杉村安幾子、徐 Xu 「春」試論 後景化されつつそこにある戦争、言語文化論叢第 22 号、査読無、2018 年、79-100 頁
- (2) 羅勛章著・齊藤大紀訳、2010 年以降中国大陸における沈従文研究の新動向、富山大学人文学部紀要第 67 号、査読無、2017 年、79-96 頁
- (3) 齊藤大紀著・張彦萍訳、被消費的感傷：沈従文与于 Geng 虞、長江大学学报第 40 卷第 4 期、査読無、2017 年、59-63 頁
- (4) 高橋俊、中国映画に見る「家族」 『唐山大地震』を中心に -、高知大國文第 48 号、査読無、2017 年、85-95 頁
- (5) 中野知洋、日中戦争時期重慶における王平陵小説の一側面 『送禮』を中心に、『学大國文』第 59 号、査読無、2017 年、65-90 頁
- (6) 杉村安幾子、徐 Xu 『鬼恋』試論 悲恋への序奏、『言語文化論叢』第 21 号、査読無、2017 年、99-119 頁
- (7) 中村みどり、大学オーケストラから左翼演劇へ 芸術劇社における陶晶孫の音楽活動、『人文研究』第 191 号、査読無、2017 年、89-119 頁
- (8) 中村みどり、淪陥上海的叙述与故事 陶晶孫の文学障地、『史料与闡釈』第 4 号、査読無、2017 年、305-317 頁
- (9) 中村みどり、《蝴蝶夫人》 従好萊塢電影到施蛰存与穆時英の小説、『現代中文学刊』第 44 号、査読無、2016 年、70-77 頁
- (10) 齊藤大紀、恋に消えゆく五四の声 王統照『一葉』論、『野草』(中国文芸研究会) 第 97 号、査読有、85-107 頁、2016 年
- (11) 杉村安幾子、「国立青島大学」という物語 彼女が李雲鶴だった頃、『言語文化論叢』第 20 号、査読無、179-199 頁、2016 年

(12) 中野知洋、王平陵「xuan渦」について、『学大國文』第 58 号、査読無、1-20 頁、2015 年

(13) 齊藤大紀、青島の海水浴場のロシア人 王統照『海水浴の後』について、科学研究費(基盤研究(C))研究課題番号 24520387 『近代都市・青島における知識人の交流と文化空間化の創成』報告書、査読無、74-89 頁、2015 年

[学会発表](計 24 件)

- (1) 中村みどり、創造社による「日本」に関する記述 郁達夫「中途」(「帰航」)と反日ジャポニズム小説、中国人留学生史研究会拡大例会「近代日中関係と留学生文学」、2018 年
- (2) 杉村安幾子、青島：近代文化空間としての海浜リゾート都市、第 256 回北海道大学中国語中国文学談話会、2017 年、北海道大学
- (3) 中村みどり、關於日本的“現代中国留学生文学”研究、「東亜教育交流視野下的中日留学生史研究」国際学術検討会(国際学会)、2017 年、
- (4) 中村みどり、浪漫主義精神的變遷 陶晶孫の跨國身分與文學空間、第十二屆東亞學者現代中文文學國際學術研討會(国際学会)、2017 年
- (5) 中村みどり、洪深と映画脚本『桃後桃花』について、中国文芸研究会例会、2017 年
- (6) 中村みどり、洪深と青島、科研基盤研究(C) 「近代都市・青島における知識人の交流と文化空間の創成」研究例会、2017 年、近畿大学
- (7) 齊藤大紀、北京モダニズム 胡也頻の創作について、中華圏モダニズム研究会例会、2017 年 1 月 8 日、近畿大学
- (8) 中野知洋、「懦夫」をめぐる 青島時代の沈従文小説の一側面、基盤研究(C) 「近代都市・青島における知識人ネットワークと都市表象の研究」2016 年度第 2 回研究例会、2016 年 12 月 7 日、近畿大学

(9)中野徹、経費がない！ 国立青島大学の開校と閉校について、基盤研究(C)「文化都市・青島における知識人ネットワークと都市表象の研究」2016年度第2回研究例会、2016年12月7日、近畿大学

(10)中野知洋、王平陵と日中戦争時期重慶『送礼』を中心に、中国文芸研究会例会、2016年8月31日、おごと温泉湯の宿木もれび

(11)中野徹、海と学潮 国立青島大学における学生運動、中国文芸研究会例会、2016年8月31日、おごと温泉湯の宿木もれび

(12)中村みどり、跨華界与租界的文化活動 陶晶孫在上海芸術劇社の活動、上海都市文化歴史演進暨蘭心大戲院150周年国際學術討論会(国際学会)、2016年8月27日、上海社会科学学院

(13)齊藤大紀、空閑少佐から空閑少佐へ 同時代の“空閑昇”言説における穆時英『空閑少佐』、中華圏モダニズム研究会北陸分会、2016年2月20日、福井大学

(14)高橋俊、『花季雨季』論 深zhenの一発屋、中華圏モダニズム研究会例会、2015年12月19日、静岡県職員会館

(15)高橋俊、「都市文学」再考 深zhen文学の事例から、高知大学国語国文学会、2015年11月28日、高知大学

(16)齊藤大紀、湘西と北京 1990年代以降の沈從文研究から、日本現代中国学会全国學術大会、2015年10月25日、同志社大学

(17)中村みどり、東南医学院と日本 陶晶孫の足跡を中心として、留学生史研究会、2015年10月3日、神奈川大学

(18)中村みどり、趙敏氏《郁達夫における芥川龍之介の受容 歴史小説『采石磯』と『戯作三昧』、『地獄変』の比較から》、中国文芸研究会例会、2015年9月27日、関西学院大学

(19)齊藤大紀、王統照と青島 五・四の海から九・一八の海へ、中国文芸研究会例会、2015年7月26日、関西学院大学

(20)中村みどり、新たな時代の羅針盤を求めて 宋慶齡と近代中国の女性たち、中華圏モダニズム研究会例会、2015年7月18日、国士館大学

(21)中村みどり、1930年代上海におけるハリウッド映画『マダム バタフライ』の上映と受容、人文学会新会員講演会、2015年7月1日、神奈川大学

(22)齊藤大紀、王統照『一葉』について 少年は海で何を思うか、科学研究費基盤(C)「文化都市・青島における知識人ネットワークと都市表象の研究」研究例会、2015年6月27日、近畿大学

(23)中村みどり、陶晶孫『青島一瞥』の背景、科学研究費基盤研究(C)「文化都市・青島における知識人ネットワークと都市表象の研究」研究会例会、2105年6月27日、近畿大学

(24)中野徹、海と学潮2 王林と海鷗劇社、科学研究費基盤研究(C)「文化都市・青島における知識人ネットワークと都市表象の研究」研究会例会、2015年6月27日、近畿大学

〔図書〕(計 4件)

(1)中村みどり(共編著)、上海モダン 『良友』画報の世界』、勉誠出版、2018年、504頁

(2)高橋俊(共訳)、変法派の書簡と『燕山楚水紀遊』 - 「山本憲関係資料」の世界 -、汲古書院、2017年、540頁

(3)齊藤大紀(共著)、中国文化55のキーワード、ミネルヴァ書房、2016年、248頁

(4)齊藤大紀、中野知洋、高橋俊、杉村安幾子、中村みどり(共著)、中華文化スター列伝、関西学院大学出版会、2016年、219頁

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：

種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等
特になし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

齊藤 大紀 (SAITO HIROKI)

富山大学・人文学部・教授

研究者番号：70361938

(2) 研究分担者

高橋 俊 (TAKAHASHI SHUN)

高知大学・人文社会・教育科学系・教授

研究者番号：10380297

中野 徹 (NAKANO TORU)

近畿大学・文芸学部・准教授

研究者番号：20610512

杉村 安幾子 (SUGIMURA AKIKO)

金沢大学・外国語教育センター・准教授

研究者番号：50334793

中野 知洋 (NAKANO TOMOHIRO)

大阪教育大学・教育学部・准教授

研究者番号：70372638

中村 みどり (NAKAMURA MIDORI)

神奈川大学・外国語学部・准教授

研究者番号：30434351

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

なし